

寺報

No.618

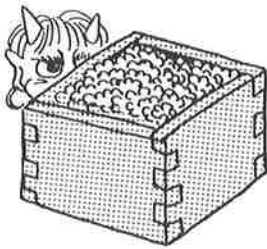
平成31年2月

蓮華寺
行

御聖訓

いわゆる、病は重し薬はあさし
その時、上行菩薩出現して妙法蓮
華經の五字を、一閻浮提の一切衆
生にさづくべし。

『高橋入道殿御返事』



(解説)

「仏教で説く、濁悪乱世の社会、いわゆる末法の時代では、心の病や身の病を患う人がどんどん増え重くなってきたのに、良い薬が見つからず、その回復もおぼつかない状態となっています。しかし、これを治す名医にはお釈迦様がいらっしゃり、また最良の薬には法華經があります。

今、お釈迦様のお使いとして上行菩薩が出現して、ここに名医の調薬である妙法五字を世界中の皆様にあけてくれたのです。」

日蓮大聖人はこう力説します。

この上行菩薩の出現とは、日蓮大聖人の事をいい、妙法五字を授けるとは『南無妙法蓮華經』のお題目を唱えていく事の大切さを教えています。

しかし、たとえ良薬が投与されたとしても、我々がそれを飲まなければ無意味なものとなります。

せっかく良薬がここにあるのなら、手に取ってしっかりと口に服用しなければなりません。

服用する事こそが信仰であります。

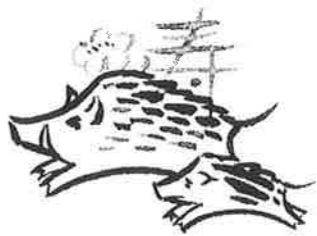
どうか皆様も法華經・お題目をもって、心身の病を完治させて欲しいと思います。

節分会のお知らせ 二月三日(日)

午後六時開始

男性大厄	数え二十五歳	平成七年生れ
	数え四十二歳	昭和五十三年生れ
女性大厄	数え十 九歳	平成十三年生れ
	数え三十三歳	昭和六十二年生れ
大正十二年生れ		
昭和十年・二十二年・三十四年・ 四十六年・五十八年生れ		
平成七年・十九年・三十一年生れ		
その他	前厄・後厄(厄年の前後)	
	還暦(六十一歳)・古稀(七十歳) ・喜寿(七十七歳)・傘寿(八十歳) ・米寿(八十八歳)・卒寿(九十歳) ・白寿(九十九歳)	
	いずれも数え年です。	
	今年ご祈祷希望者はどなたでも受けられます。	

- ★厄払い・三千円
 - ★一般祈願・千円
 - ◎豆まき◎祈願読上げ
 - ◎ご祈祷◎厄札◎絵馬
 - ◎福豆のお土産等
 - ◎節分札◎祈願読上げ
- ◎本人が来られない場合は、代理の方か、または帯・ベルト・衣類等をご持参下さい。
- 【随時受付中】



当山蓮華寺では、本年大厄(前厄・後厄も含む)に当ります男女、また干支の亥【いのしし】年に当ります年男・年女、更に今年特別にご祈祷を希望する方々に、まず厄払いのご祈祷とお加持を受けて戴き、次に豆まき(落花生)、最後に絵馬と厄除けのお札、お土産をお渡し致します。

この時、お渡しする「絵馬」は、その場か後でも差し支えありませんが、住所・氏名・数え年、そして一年

厄払い

間の願い事を書いてお寺にお納め下さい。お寺ではこれを一年間、大本堂の御寶前に奉納し毎朝祈願のお経をお上げします。

また、厄除けのお札はご本人が寝ている部屋の柱の上の方に、一年間貼って下さい。

向きは、寝ている頭の方向が最もよろしいでしょう。必ずお願い致します。

私達が一生の中で、特に災難に遭う恐れが多く、慎しみたい年を『厄年』といいます。

男性は二十五歳と四十二歳、女性は十九歳と三十三歳の、いずれも数え年を『大厄』といい、またその前後の年を『前厄』『後厄』といひまして、この三年間を慎しむ風習が昔からあります。

厄年に当る人が、神仏の前で厄災の起こらないようにと祈念する行事を「厄払い」、また除厄(じょやく)祈禱(じゆたう)といひます。

日蓮大聖人は、法華経を信仰する事で「三十三の厄、

豆まきで日蓮宗は『鬼は外』を言わない？

檀家さんの方から

「日蓮宗は鬼子母神様をお祀りしているので、『鬼は外』はいわず『福は内』だけをいうと聞きました。蓮華寺では『鬼は外』といって豆をまいていますがどうなんですか。」

と、こういう質問がきました。確かに、日蓮宗の中で特に『鬼子母神様』をお祀りし

転じて三十三の幸いとならせ給うべし」と教えられ、昔から信者の厄年の男女は、法華経・お題目の力によって除厄得幸を祈ってきました。

当山では、厄年以外の今年【亥年】の『年男・年女』また『還暦』『古稀』『喜寿』『傘寿』『米寿』等、更にその年の除災を願う方々は、どなたでもご祈祷を受ける事が出来ます。

また一般の参拝の方々は、除厄された方よりまかれる豆を拾い、今年の福を分けてもらって下さい。お願い致します。

ています千葉・中山の『法華経寺』などでは、『福は内』のみで豆まきをしています。

しかし、蓮華寺の先代『角田堯栄上人』は

「鬼子母神様はインドの時代は、子供を殺したりして悪業を繰り返していたかも知れませんが、お釈迦様から諭されてからは善神として子供、また皆様をご守護すると約束し心を改めています。」

ですから、名前の中に『鬼』が入ってたとしても、もう鬼ではありません。

それよりも、我々人間は各々が持っている『心の鬼』こそ追い出さなければなりません。

その為には『鬼は外へ、福は内へ』と声高らかに唱える事が大事です。」

と言われました。

節分に行われる儀式を『追儺会』といいます。

追儺とは【厄払い】【厄落とし】の事で、我々に害をなす、苦しめる悪霊・疫病・厄神などを追い払い、幸せをもたらす守護神・福神・善神を招き入れる行事です。どうか遠慮なさらずに、『鬼は外へ、福は内へ』と大きな声で豆まきをして下さい。

『御守護』札を

貼付しましょう！

当山で毎年年末に用意致します『御守護札』は、蓮華寺の檀家である証明と、その家をご守護する為のお札ですので、必ず玄関に貼付するようにして下さい。まだ檀家の中でも知らないで、貼付していない家庭も沢山あります。

どうか、今年度より貼付するようお願い致します。



（一枚五百円）【販売中】

また、その年に家でご不幸などがあつた場合でも、御札・御幣等は必ず毎年取り替えるようにして下さい。

☆ 霊 断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお、宗旨宗派は問いません。

☎776-5840

【相談料は原則として三千元となります】

『星 祭』お申込みのお知らせ

当山では毎年三月に行われます『星祭』の期間中皆様のご家族のお名前と数え年を記入しました「星」（剣守札）をお祀りして、その年の善星が皆来し、悪星が退散して、一年間無事安泰でありますようにと祈願致します。

その時に、皆様がお受けになります「星」のお申込みは、事務所に置いてあります専用の用紙に、ご家族のお名前・性別・数え年・住所等をお書きの上、お早めにお申込み下さい。

※ 剣守札（星）（一体・・・二百円）



どうか、檀信徒の皆様は、是非とも毎年この「星」（剣守札）をお申込み戴き、そして、いまだ知らない方がおりましたら、お勧めになりますようにお願い致します。

二月十三日（水）より受付します。

永代供養堂

当山会館の三階にあります「永代供養堂」は、今後後を見る事が出来ない仏様をご供養する所です。

まず、当山指定のお位牌の正面に『戒名』または『先祖代々之諸精霊』と彫り、裏面には施主名を彫り御寶前にお祀りします。

そして、蓮華寺のお寺が続く限り、永遠にご供養して参ります。

ここでは、毎朝僧侶がお経を上げ、ご命日にはご戒名を読み上げますし、また先祖代々のご供養はお申込みのあつた日に読み上げをしています。

永代供養塔

当山境内にあります「永代供養塔」は、今後、後を見る事が出来ない『個人のお骨』また『先祖代々のお骨』を埋骨し、永代に渡りご供養しております。

ここは、毎月僧侶がお経を上げ、ご供養を欠かす事はありません。

（注）どちらも詳細は、当山事務所までご相談下さい。

☎017-776-5840

盛運祈願会へお参りしましょう

毎月ついたち午後一時からの、お守り（俱生靈神符）を戴く行事を「盛運祈願会」といいます。

皆様の中には、自らが参拝してお守りを戴く方、親戚や友人に頼んで戴く方、また直接お寺の事務所でお求めの方と、様々な方法でお守りを戴いている事と思います。

しかし、ついたちの日が仕事や諸用で忙しいとか、またご遠方の方は仕方ありませんが、時間にいくら余裕のある方は、是非とも盛運祈願会に参拝してお守りを戴いて下さい。

そして、我々はただお守りを戴くだけではなく、御寶前に於きまして御本尊様・日蓮大聖人様・諸天善神・俱生靈神様に、

『一ヶ月間どうも有り難うございました。また、今月もよろしくお願い致します。』と、御礼する事が大切なのです。

更に、我々が知らず知らずの間に作って来た罪を、自らが懺悔滅罪し、一心に盛運を祈願して、俱生靈神の守護をより強くする事も忘れてはいけません。

『位牌壇』募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様も今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げし、またお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきています。それが、それでも構いません。

◎やむなく、ご親戚やご友人に譲渡する事も出来ますが、その際はお寺に必ずご連絡下さい。

ご先祖を供養しましょう

身に着ける「お守り」

当山では、次の三つのお守りを、全檀信徒の皆様にも必ず身に着けて戴きますようにお願いしています。

霊神符



生命に係わる事故や災難から身を守るお守りで、必ず身に着けて、毎月交換して戴きます。

五段のお守り



我々の計り知れない死霊・生霊・野狐・厄神・呪詛の五段の邪気から身を守るお守りで、年に一回交換します。

カード型ご本尊



日蓮宗の大曼荼羅御本尊を小型化したお守りで、右の二つのお守りを、更に強くお護りして戴く為に一緒に身に着け、年に一回交換します。

『霊神符』を持ちましょう！

最近は何いもよらない事故・事件・災害が多発して特に、お子さんやお年寄りが多く巻き込まれている状態です。

檀信徒の皆様も「私だけは大丈夫」というお考えはお止めになりまして、素直に毎月『霊神符』（お守り）を肌身離さずお持ちになりますようにお願いします。

【一体・百五十円】

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

『提灯』の募集！

当山で『お正月』『鬼子母神大祭』『御会式』に下げます『提灯』（トローラー）を募集致します。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度は一万円となります。

二月の行事

一 日(金) 盛運祈願会 午後一時より

・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。

・ 自ら進んでお勤めに参加しましょう。

・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。

寒修行 二日(土)まで連日(小本堂)

午後七時より一時間

三日(日) 節分会 午後六時より

十三日(水) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より

・ お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)

十九日(火) 妙見小祭 朝のお勤め中

お詫び

先月の一月二十七日(日)が【甲子^{きのえね}】の大黒様の日でしたが、お寺のミスで記載されませんでした。此処にお詫び申し上げます。

☆奉仕のお知らせ

三日(日)「節分会」のお手伝いと後片付け

教宣部男女・午後三時より

* 今月は、「節分会」の大有事がありますので、お手伝いの方が沢山必要です。

どうか皆様のご協力をよろしくお願い致します。

① 一般檀信徒の方でご奉仕出来ます方は、当日時間までにご集合下さい。

◎ 奉仕部長・山田兼補 ◎ 伝道部長・小野正春

◎ 教宣部長・杉淵昌三

檀信徒研修会は

三月までお休みです

『十三日のお勤め』

に参拝しましょう!

② 十三日の『日蓮大聖人様のご命日』のお勤め用にお経練習の【カセットテープ・CD・お経本】を販売しています。(詳細は事務所まで)